

令和元年度(平成31年度)地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	火山防災に関する知識の普及啓発と御嶽山の魅力発信事業
事業主体 (連絡先)	御嶽山火山マイスターネットワーク (0264-25-2213)
事業区分	(4) 安全・安心な地域づくりに関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	472,509円(うち支援金:357,000円)

事業内容

- ① 御嶽山火山マイスターの基礎的知識を向上させる研修会と、一般の人の勉強会を兼ね、御嶽山について造詣の深い3名の専門家を招聘し、「御嶽山のひみつ」と銘打った講演会およびフィールドワークを実施した。
- ② 登山者の御嶽山に関する知識や意識を調査し、今後地域の火山防災や観光に役立てるため、登山者のアンケート調査を実施した。(9合目石室山荘にて実施)



【講演会】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 自然災害科学・地質学・宗教人類学等について国内でも先進的な研究を行っている各氏による講演及びフィールドワークから得た知識やサポートの経験を、今後マイスターが一般に向け講師やガイド等の活動に反映させることができる。
- ② 各回において参加してくれた一般の参加者に研修会と御嶽山に関するアンケート調査を実施した。参加者の中には今まで御嶽山の事をあまり知らなかったという人もおり、講演会やフィールドワークでより御嶽に興味を持つようになったといった回答も得られた。
- ③ 登山者アンケートは、登山者にとって御嶽山のどこに魅力を感じ、何を知りたいか、また山岳防災についての意識など、今後御嶽山の観光面でも活用できる情報が、1,000を超えるサンプル回収で得られたのは大きい収穫と考えられる。

【目標・ねらい】

- ① 御嶽山火山マイスターのスキルアップ
- ② 一般参加者の御嶽山への興味喚起と噴火災害の風化防止
- ③ アンケートによる登山者の意識調査

※自己評価【B】

【理由】

- ・講演会及びフィールドワークは、3人の講師が地質・防災減災・宗教学の専門家であり深い御嶽山知識の吸収に繋がった。
- ・登山者アンケート調査とその結果の集計・分析は、今後の木曾地域の観光にも役立てられる。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・今後火山マイスターネットワークが自ら講演・フィールドワーク等を開催し、活動の基となる資金を作るためにも、御嶽山のことをさらに学ぶ研修会を開催していく。
- ・将来的に火山マイスターの活動を引き継いでいってもらいたい若い世代や子ども世代に向けた学習会(講演・フィールドワーク等)を開催していく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある